

□ トピック □ 冬でも見かける昆虫「貯蔵穀物害虫」

秋の風物詩である稲刈りもひと段落し、紅葉も始まり、秋が深まってきましたね。

冬に向かうこの時期の環境変化は生き物が生きていくための食物確保や低下する温度への適応など、生息環境が大変悪化するため、虫やネズミなどの生き物は慌てて越冬の準備をするものや、環境の変化に耐えきれず死に絶えていくものもいます。

一方で工場などの室温がある程度保たれている建屋では、生息数は減少するものの、この時期でも虫を見ることができます。例えば、食品異物になりやすいタバコシバンムシやノシメマダラメイガなどは貯蔵穀物を食害する害虫で、一般家庭でもよく見られます。これらの室内に適応した仲間は環境が良い場合には爆発的に増殖し、穀物やその加工品を広く加害します。幼虫は包材などを穿孔する能力をもち、わずかな粉類の堆積物でも発生するため、食品工場などで大きな被害をもたらします。これらの虫を発生させないためには、再び動きが活発になる春までに対策や準備をしておくことが重要です。



タバコシバンムシ



ノシメマダラメイガ

□ お知らせ □ ゼネラルクリーニングで春先の安心を買いませんか？

貯蔵穀物害虫のエサやすみかになる穀物などの有機物を含む粉塵を除去することは、虫の発生を未然に防ぐこととなります。しかし日常清掃では手が届かなかつたり、見過ごしやすい箇所(高所配管上、天井付近、タンク内など)から虫が発生してしまう事例がよくあります。これを防ぐために弊社では、「ゼネラルクリーニング」をお勧めしています。その手法としては主に下記の3つがあります。

吸引法 : クリーナーなどを利用し、堆積した粉塵を吸引する、最も標準的な清掃法

削り落とし : 油分や水分で粉塵が固着している場合、スクレーパーなどで物理的に剥離して集塵

吹き飛ばし : 吹き飛ばした粉塵が回収できる場合、高圧エアによる吹き飛ばし清掃を行う

弊社のゼネラルクリーニングは美化を目的とした衛生的な管理を行うだけではなく、防虫対策を効果的に運用するためのものです。施工は貯蔵穀物害虫の生態や発生源を知る技術員が対応させていただき、見た目も衛生状況もより良くするお手伝いをさせていただきます。

冬は虫の動きが鈍いため、目には見えにくいですが、清掃スケジュールを組んで徹底的に対策を行うには好ましい時期でもあります。

この機会に取り組んでみてはいかがでしょうか？



吸引清掃



削り落とし清掃



吹き飛ばし清掃

□ 豆知識 □ ちょっと怖い「秋の花粉症」！？

秋になると、くしゃみが止まらず水っぽい鼻水が続く、眠れない、などの症状があらわれる方が多くいらっしゃるのではないでしょうか？毎年同じ時期に同じ症状が見られる場合、「花粉症」を疑うことがあります。

一般的に「花粉症」というと春先のスギやヒノキの花粉などで引き起こされるという印象が強いですが、花粉症の原因となる花粉は50種類以上あります。特に秋は植物の実りの時期でもあり、多くの植物が花粉を飛散させます。その種類にはブタクサ、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、イネ、カナムグラなどの雑草やイネ科雑草などがあり、春に飛散するスギやヒノキの花粉とは異なり、道端や空き地に繁茂する身近な植物が原因となることが多くあります。花粉症で苦しまないためには、まずは皮膚科や耳鼻科に行ってアレルギー検査を行うことが一番ですが、原因植物に近寄らない、極力窓は開けないなどして花粉を取り込まないようにすること、規則正しい生活をし、花粉に負けない免疫力を高めることなどが挙げられます。

たかが花粉症と思われるかもしれませんが、重篤な場合にはアナフィラキシーショックなどで死亡する事例もあります。おかしいな、と思ったら、まずはお医者さんにかかってみることをオススメいたします。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)